

新学習指導要領全面実施について

令和2年

参考：文部科学省「子供の未来を支える皆さまと教習したい学習指導要領『生きる力 学びの、その先へ』」より

◇改定に込められた思い

学校で学んだことが、子供たちの「生きる力」となって、明日に、そしてその先の人生につながってほしい。これからの社会が、どんなに変化して予測困難な時代になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。そして、明るい未来を、共に創っていきたい。2020年度から始まる新しい「学習指導要領」には、そうした願いが込められています。

これまで大切にされてきた、子供たちに「生きる力」を育む、という目標は、これからも変わることはありません。

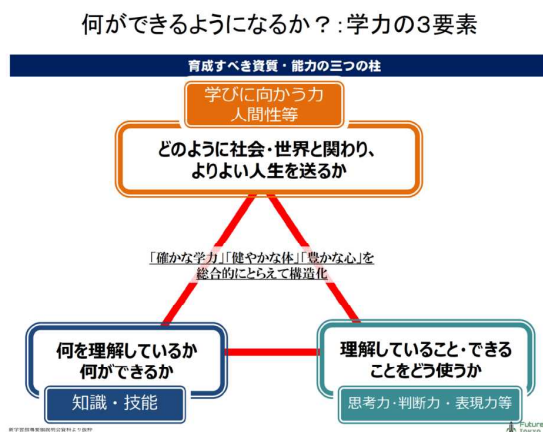
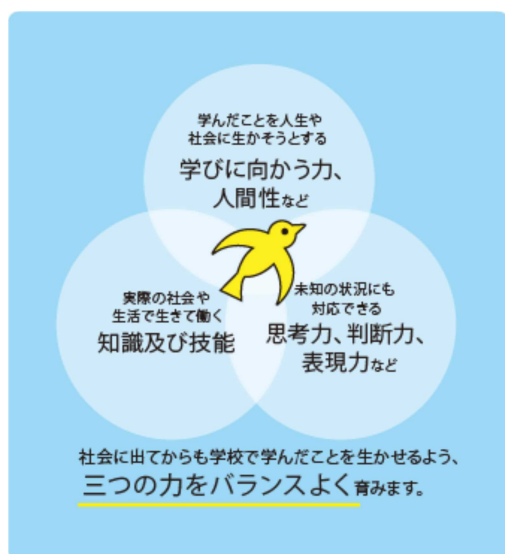
一方で、社会の変化を見据え、新たな学びへと進化を目指します。

生きる力学びの、その先へ

新しい「学習指導要領」の内容を、多くの方々と共有しながら、子供たちの学びを社会全体で応援していきたいと考えています。

◇何ができるようになるの

新しい時代を生きるのに必要な力を三つの柱として整理しました。全ての教科でこの3つの柱に基づき子供たちの学びを後押しします。



◇どのように学ぶの（主体的・対話的で深い学び）

「主体的・対話的で深い学び」（アクティブ・ラーニング）の視点から「どのように学ぶか」も重視して授業を改善していきます。

例えば、・1つ1つの知識がつながり「わかった」「おもしろい」と思える授業に

- ・見通しを持って、粘り強く取り組む力が身につく授業に
- ・周りの人たちと共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業に
- ・自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業に

◇何を学ぶか

- ・新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた教科・科目等の新設・見直し
 - *新設：外国語（5、6年生）、特別の教科道徳
- ・新たに取り組むこと・重視すること
 - *プログラミング教育、外国語教育、道徳教育、言語能力の育成、理数教育、伝統や文化に関する教育

◇カリキュラム・マネジメントの推進

カリキュラム・マネジメントを推進し、教育活動の質向上、学習の効率化を図ります。

- ・複数の教科等の連携を図りながら授業をつくる
- ・地域と連携し、よりよい学校教育をめざす

◇「社会に開かれた教育過程」の実現

- ・よりよい社会を創るという目標を持ち、その目標を社会と共有していく
- ・社会や世界に向き合い、関わり合い、自らの人生を切り拓いていくための資質・能力を明確にする
- ・学校教育を社会と共有・連携しながら実現していく（地域の教育環境の活用）

◇保護者の皆様へ

子供たちの「生きる力」を育むには、学校での学びを日常生活に活用したり、家庭での経験を学校生活に生かしたりすることがとても大切です。学校での様子をご家庭での会話の中に入れていただき、保護者の皆様の働きかけで、子供たちの「生きる力」が大きく育てばいいなと考えます。